

いわき湯本病院 リハビリテーション部 島津知代

- 功 績** 当院では褥瘡対策の一環としてポジショニングが難しい患者さんに対してポジショニングシートを作成し、誰でも同じようにポジショニングが行えるようにしています。シート導入の中心的役割を果たし、継続して使用できるように定期的な見直しを行うとともに、褥瘡のアウトカム改善に寄与している功績。
- 推 薦 者** リハビリテーション部 荻津 明
- 推 薦 理 由** 島津さんは入職11年目のPTで、育休を経てママさんPTとして活躍するとともに、褥瘡委員として活動しています。育児をしながら時間を効率的に使い定期的に他スタッフへの声掛けやアドバイスをし、ポジショニングシートの導入および定着の中心的役割を果たし、クリニカルアウトカムの改善にも寄与したため。

内 容

島津知代PTは入職11年目で、現在は2人の子育てと仕事を両立しています。3年前から褥瘡委員会のメンバーとして活動しており、褥瘡予防に高い関心を持ち業務にあたっています。

昨年、グループ病院である熱川温泉病院の褥瘡対策を見学させていただき、当院においてもポジショニングシートを導入することとなりました。当院にポジショニングシートを導入し定着させる為に褥瘡委員会で中心となり検討を重ねるとともに、島津さんは現場で他のスタッフと除圧効果と再現性の高いポジションの検討とポジショニングシートのフォーマットの作成に携わりました。ポジショニングシート導入時には各スタッフから使用感の聞き取りをし、フォーマットの改定に努め、ポジショニングシート導入後は、適時更新される様に定期的に各階担当者に声掛けを行い、必要に応じて現場でのアドバイスを継続して行っています。また、ポジショニングシートの作成を必要としない患者さん向けの「標準ポジショニング」を作成し、各病棟に周知し、それぞれの患者さんにオーダーメイドのポジショニングの定着を促しています。2019年度新規褥瘡発生数が60件だったのに対し、2020年度は33件とほぼ半減に成功しています。このように継続して褥瘡予防に取り組むことでアウトカム改善に寄与している島津さんを理事長賞に推薦いたします。